

## 小平市政を取り巻く状況

### 1 社会潮流

「(仮称) 小平市第四次長期総合計画策定に向けた基礎資料集」では、市を取り巻く社会潮流について取りまとめています (P155～P172)。各分野のキーワードは次のようなものがあげられます。

分野	キーワード
地域社会	コミュニティの衰退、商店街の衰退、広域連携
防災・治安	強靱化、防災・治安意識、空き家の増加
文化・スポーツ	オリンピック・パラリンピックへの関心、eスポーツ、食や芸術等の文化資源の観光への活用、文化資源の輸出
環境	サステナビリティ、異常気象対応、エネルギー不足
医療	先端医療開発、都市部への集中、医療費の増加
インフラ・公共施設	老朽化・耐震化、維持管理費の確保、選択と集中
公共交通	交通弱者の増加、混雑と渋滞、安全の確保
国際化社会	定住外国人増、SDGsの取組、インバウンド対応

次期長期総合計画は、市制施行 100 周年 (2062 年) を見据えつつ、その通過点としての 12 年後 (2032 年) に目指していくまちの姿を、まちづくりの全ての主体が共有するものです。

こうしたことから、社会潮流や小平市の現状を的確に捉えたうえで、(仮称) 小平市第四次長期総合計画策定の視点に立ちながら、小平市の課題や市民ニーズにいかに対応していくかを検討することが重要となります。

#### (仮称) 小平市第四次長期総合計画策定の視点

- ・ 人口減少・少子高齢化の進行や公共施設の更新時期の到来等、新たな課題への対処とともに 50 年後の小平市を見据える。
- ・ 地域住民・地域の多様な主体、行政がつながり、地域を共に創っていく
- ・ 持続可能な社会の構築

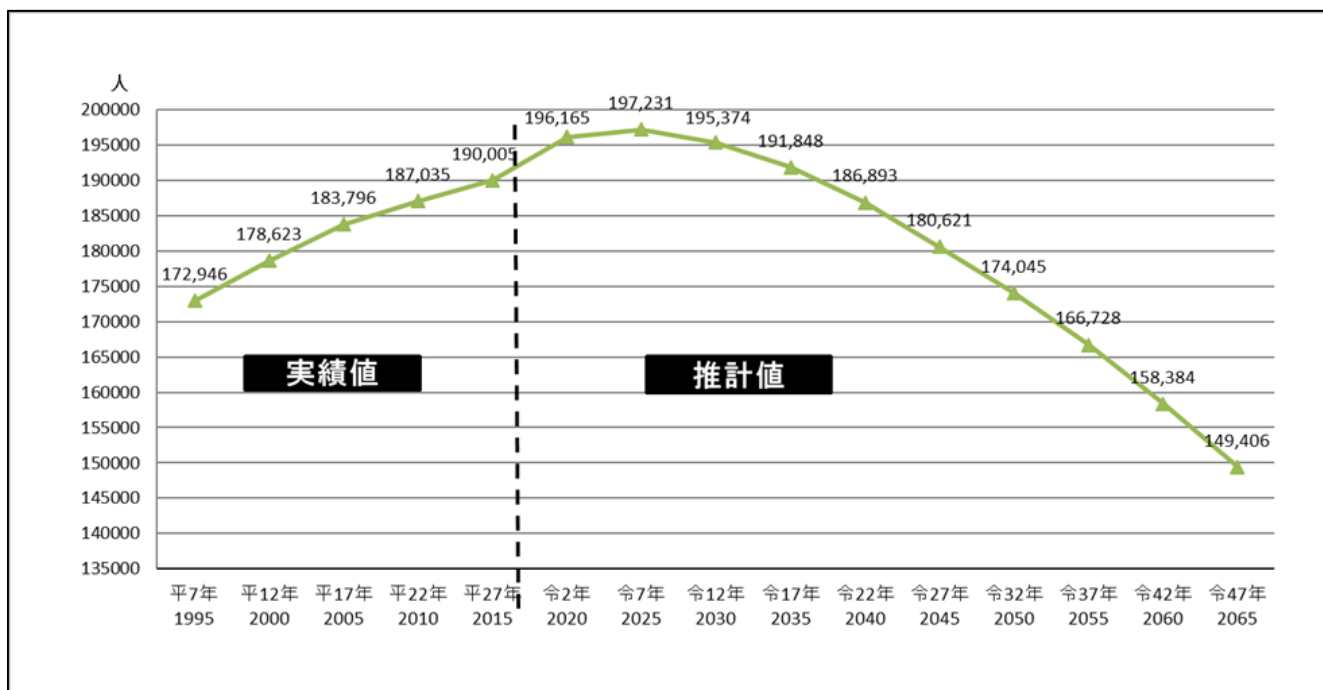
## 2 小平市の現状

### (1) 人口減少・少子高齢社会

- ・市内の総人口における65歳以上の割合は平成25(2013)年1月に21.0%に達し、本格的な超高齢社会を迎えました。
- ・市内の総人口は令和7(2025)年頃をピークとして、減少局面に入ることが推計されています。(図表4-1)
- ・年少人口及び生産年齢人口割合の減少、老年人口割合の増加がより顕著にあらわれることが推計されています。(図表4-2、図表4-3)

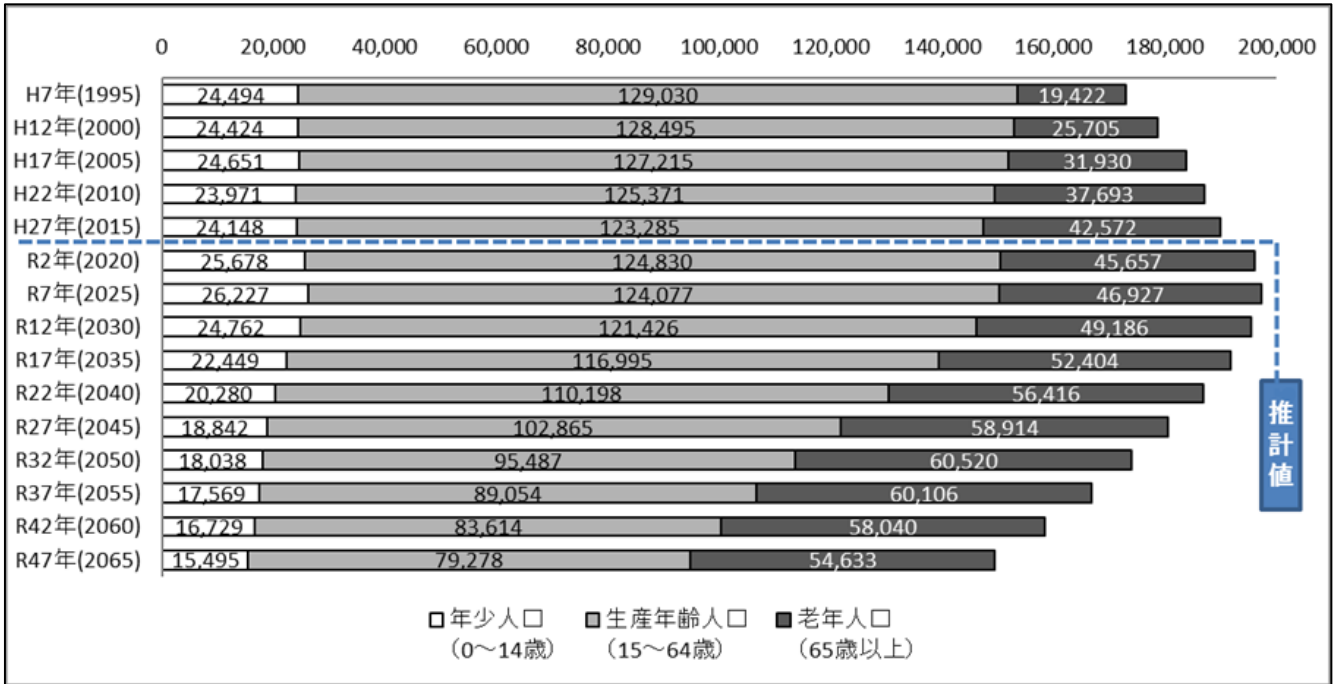
※(仮称)小平市第四次長期総合計画策定に向けた基礎資料集P.10～P.20参照

図表 4-1 小平市の人口推計



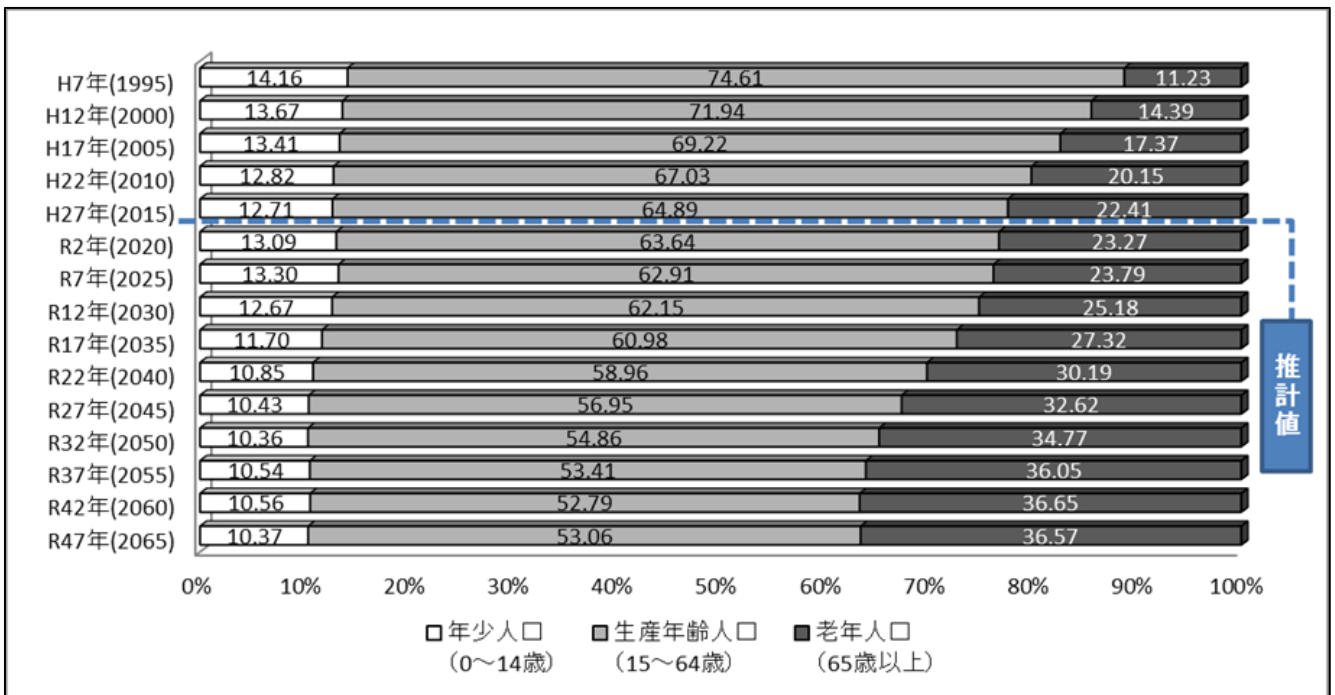
(小平市人口推計報告書 補足版(令和元年8月))

図表 4-2 小平市の年齢3区分別人口の推計



(小平市人口推計報告書 補足版 (令和元年 8 月))

図表 4-3 小平市の年齢3区分別人口割合の推計



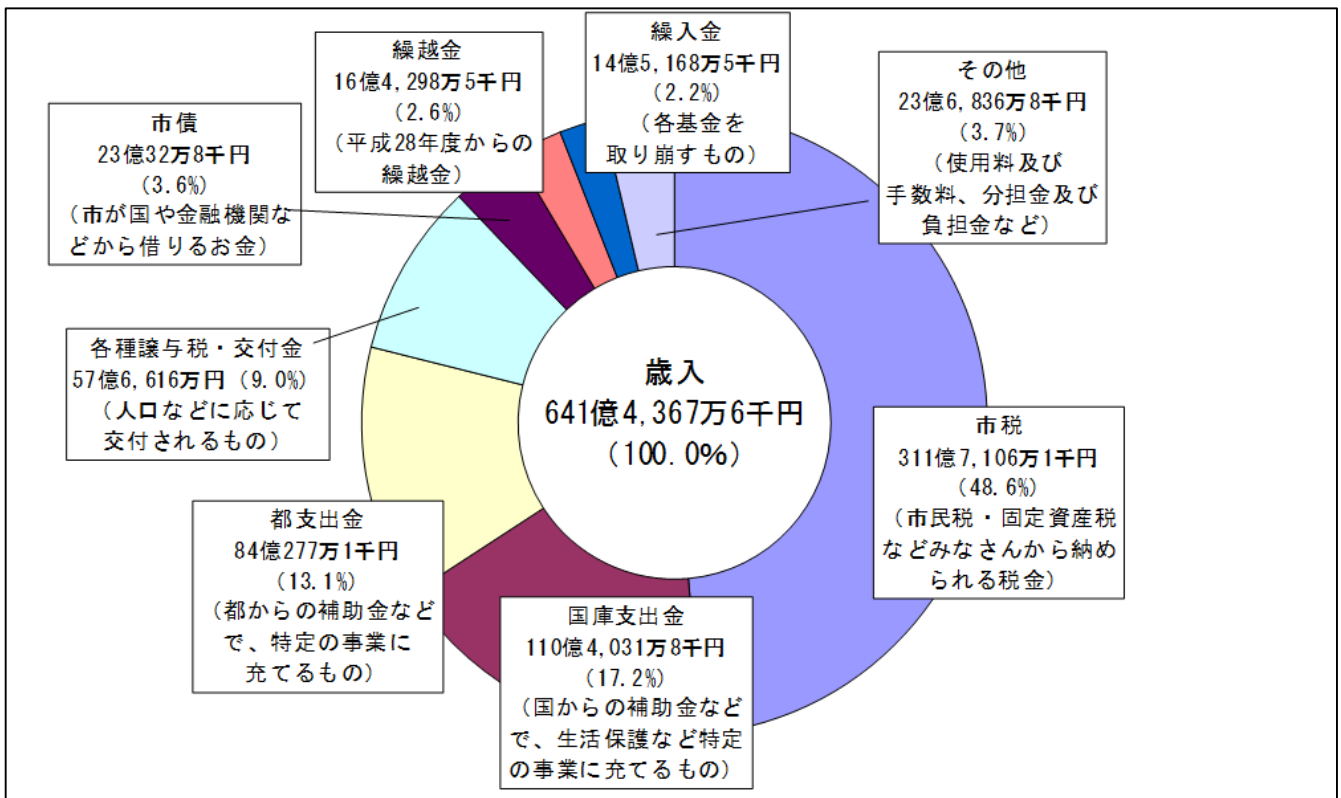
(小平市人口推計報告書 補足版 (令和元年 8 月))

## (2) 財政状況

- ・平成 29 (2017) 年度の歳入は、市税が約 50%を占めています。(図表 4-4)
- ・平成 29 (2017) 年度の歳出は、民生費が約 50%を占めています。(図表 4-5)
- ・民生費は年々増加の一途をたどっています。(図表 4-6)

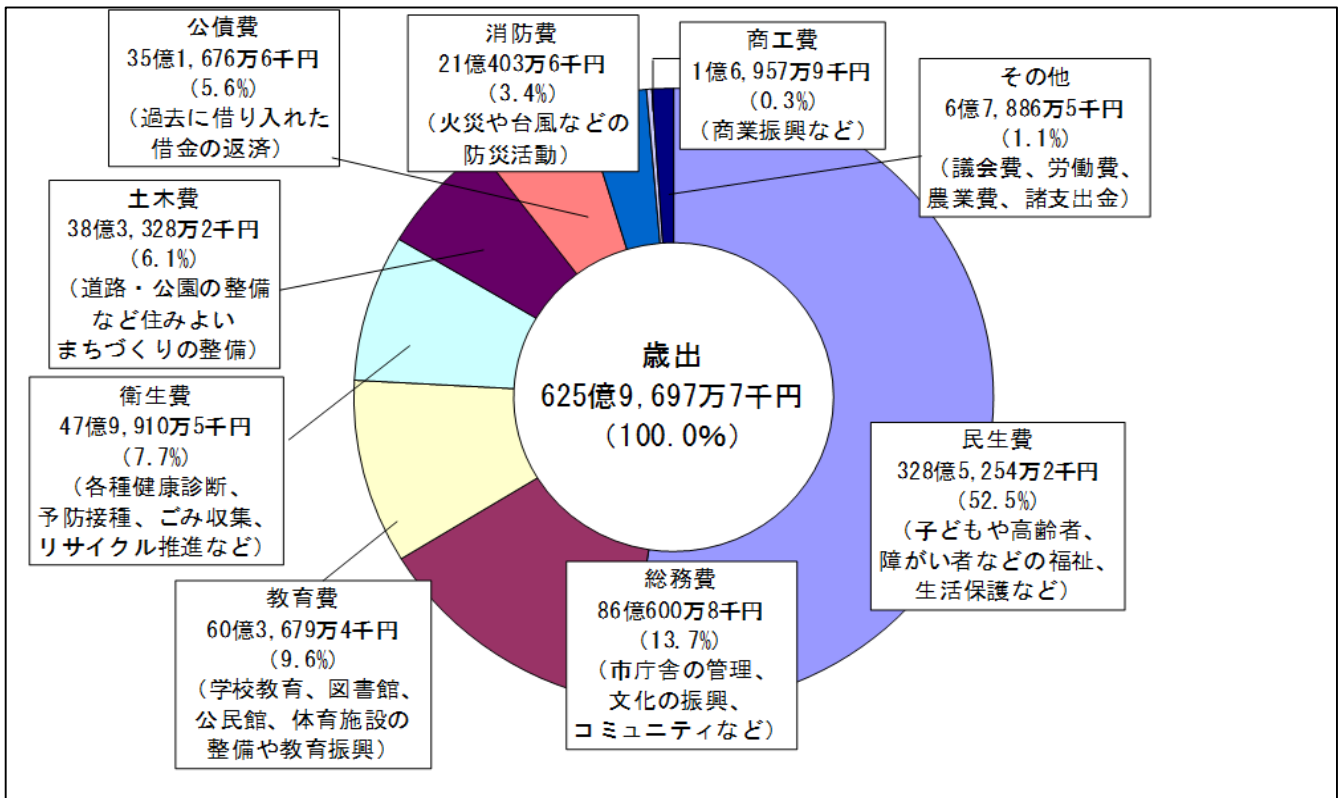
※ (仮称) 小平市第四次長期総合計画策定に向けた基礎資料集P. 27～P. 29及び  
P. 117～P. 153参照

図表 4-4 小平市の一般会計歳入決算額内訳 (平成 29 (2017) 年度)



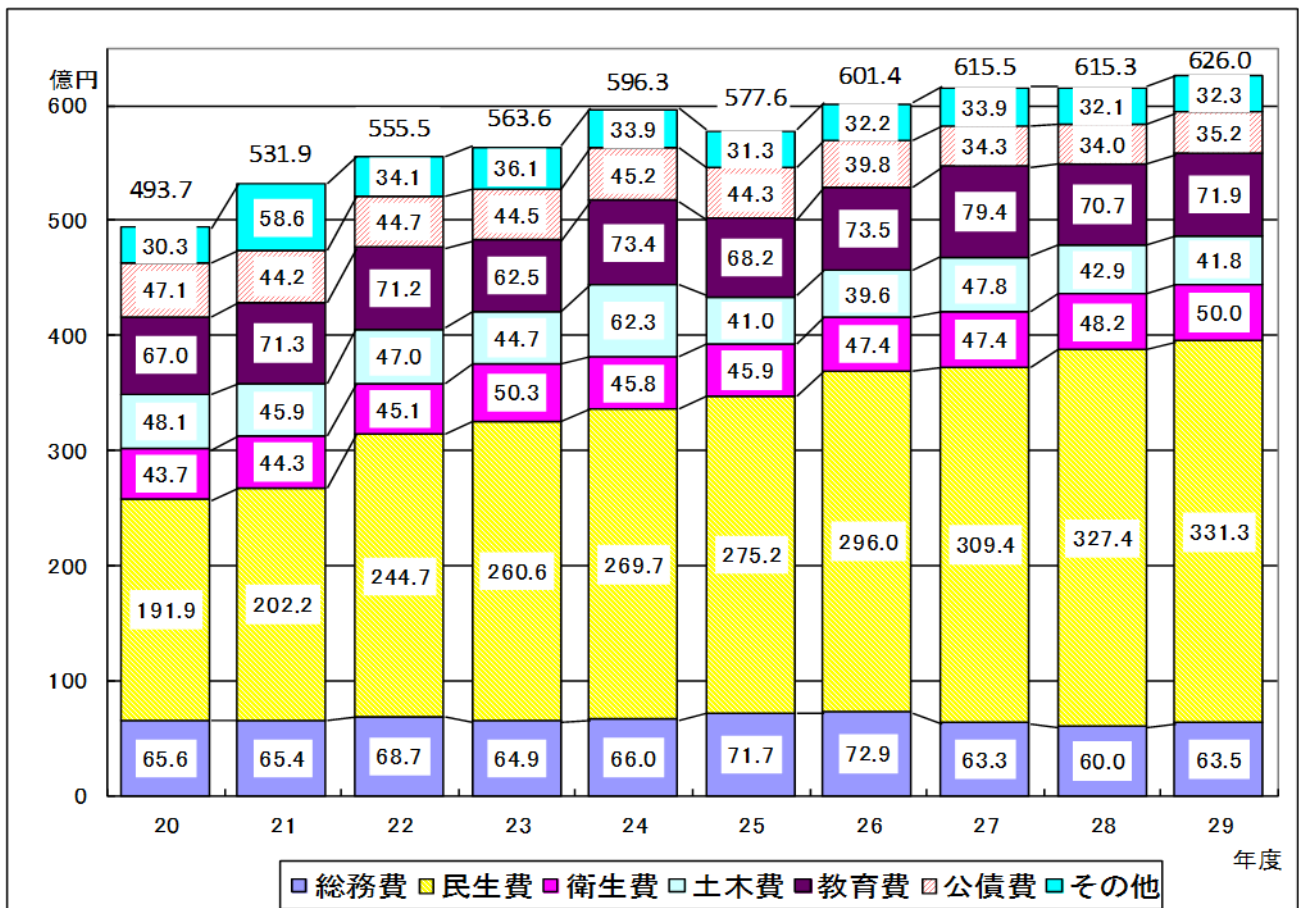
(小平市財政白書 (平成 31 年 3 月))

図表 4-5 小平市の一般会計歳出決算額（目的別）内訳（平成 29（2017）年度）



(小平市財政白書 (平成 31 年 3 月))

図表 4-6 小平市普通会計(※)歳出決算額（目的別）の推移



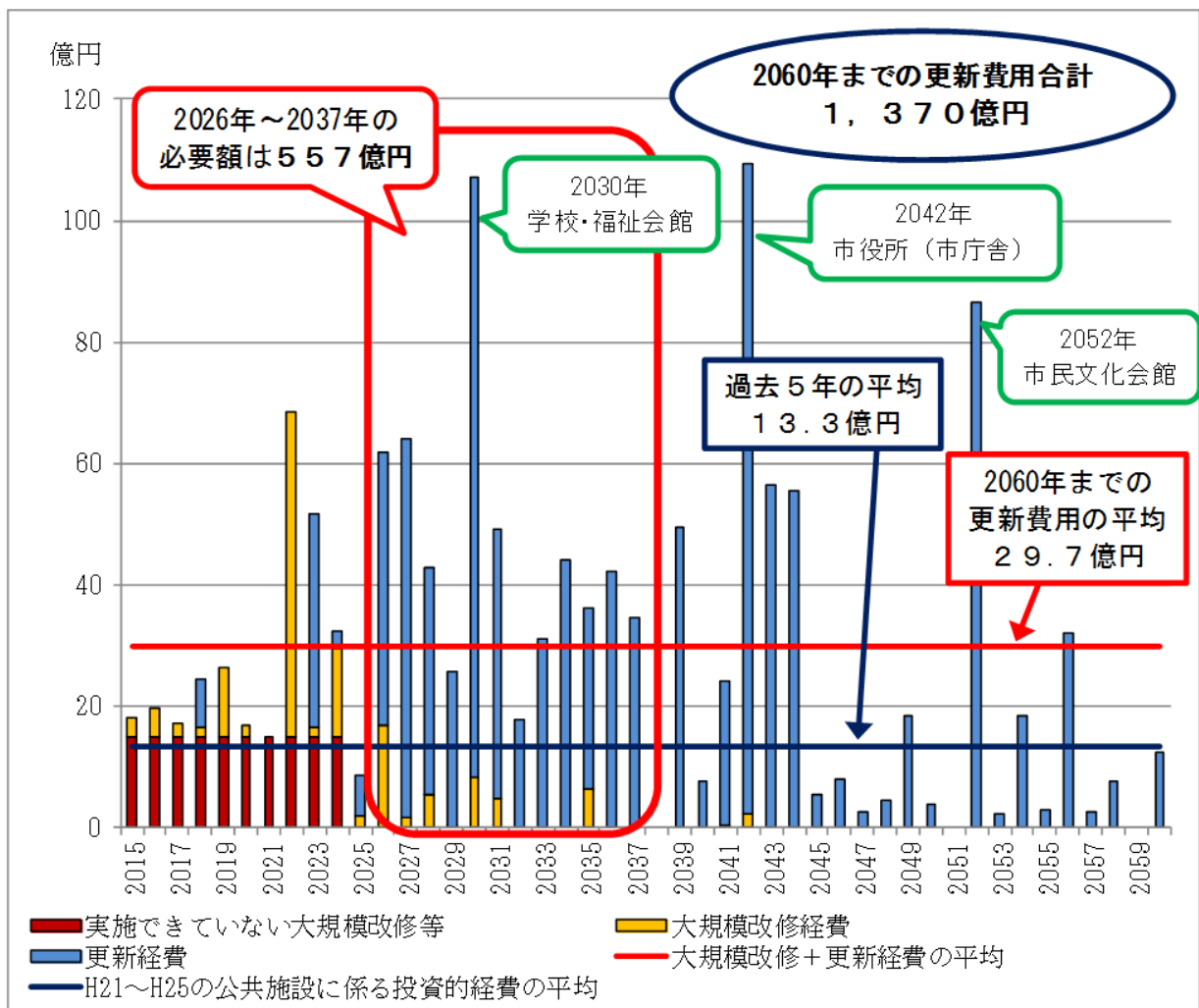
※「普通会計」とは、地方財政の実態を全国共通の統一基準で区分し直した会計です。(小平市財政白書 (平成 31 年 3 月))  
そのため、一般会計の数値と異なります。

### (3) 公共施設・インフラの老朽化

- ・小平市の公共施設は、1960年代から1970年代にかけて数多く整備してきました。
- ・小平市の公共施設の多くは老朽化が進んでおり、今後は目標耐用年数を迎える施設が増えてきます。
- ・令和8（2026）年から令和19（2037）年には更新需要の大きなピークがきます。（図表4-7）
- ・現在の施設を同規模で建て替える場合、令和42（2060）年までの施設更新に係る経費は総額1,370億円にものぼり、年平均29億円以上となります。（図表4-7）

※（仮称）小平市第四次長期総合計画策定に向けた基礎資料集P.33参照

図表 4-7 小平市の公共施設更新に係る経費



（小平市公共施設白書(平成27年2月)）

少子高齢化や公共施設の老朽化が進む中、現世代のみならず、子や孫といった将来世代まで持続可能で、だれもが期待や希望を抱くことが出来るような場づくりを行政、市民、民間事業者が協働・連携してともに推進し、次なる豊かさを実現する。→いつまでもわくわくする場をみんなで創ろう

（小平市公共施設マネジメント基本方針）